

【建物情報】

建物名	HEAT20住宅システム認証サンプルプラン		
地域区分	5 地域	気象観測点	茨城県 つくば

【判定結果】

		G1	G2	G3
暖房期最低室温(OT)	住宅シナリオ [概ね 0°C を下回らない]	10	13	15
	計算値 [$^{\circ}\text{C}$]	13.7		
	適否	◎適合	◎適合	×不適合
全館連続暖房において、 H28省エネ基準(部分間歇)からの 暖房負荷削減率	住宅シナリオ [0%以上削減]	-15	0	55
	計算値 ^{※1} [%]	13.2		
	適否	◎適合	◎適合	×不適合

※1 暖房負荷の計算値については、【仕様明細・シミュレーション条件】の「暖房負荷」を参照

(参考) 暖房室温(OT) 15°C 未満の 面積比割合	住宅シナリオ [0%程度以下]	15	10	2
	計算値 [%]	10.5		

【仕様明細・シミュレーション条件】

外皮等面積	307.53 [m^2]	外皮平均熱貫流率 U_A	0.33 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC}	1.6 [$(\text{W}/\text{m}^2)/(\text{W}/\text{m}^2)$]
断熱部位	天井断熱		屋根断熱	床断熱	基礎断熱
基礎計算法	新計算法 ^{※2}		旧計算法 ^{※3}		

主な 断熱性能	部位	性能値	断熱仕様
	天井	U: 0.13 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	吹込み用グラスウール18K400mm
外壁	U: 0.19 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	高性能グラスウール16K105mm+100mm	
開口	南	U: 1.60 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	木製又は樹脂製 (η :0.39) Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2日射取得型)
	東	U: 1.60 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	木製又は樹脂製 (η :0.39) Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2日射取得型)
	北	U: 1.60 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	木製又は樹脂製 (η :0.39) Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2日射取得型)
	西	U: 1.60 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	木製又は樹脂製 (η :0.39) Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2日射取得型)
ドア	U: 1.60 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	(ドア)金属製熱遮断構造(高断熱フラッシュ構造)ポストなし	
床	U: 0.21 [$\text{W}/\text{m}^2\text{K}$]	押出法ポリスチレンフォーム75mm+高性能グラスウール16K100mm	
基礎	Ψ : 0.37 [W/mK]	基礎1(押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A:100mm)	
暖房負荷	平成28年基準暖房負荷	12,868 [MJ]	※部分間歇暖房
	申請住宅システムの暖房負荷	11,165 [MJ]	※全館連続暖房
計算条件	気象データの地点名	茨城県 つくば	
	暖冷房期間	暖房:10月24日~5月1日 冷房:5月21日~10月4日	
	暖房条件	部分間歇暖房(居室を間歇暖房)	
	内部発熱	在室:3,029 [kWh/年] 照明:572 [kWh/年] 家電:2,480 [kWh/年]	
	24時間換気	1,262 [1000 m^3 /年] (0.50回/h)	
	局所換気	258 [1000 m^3 /年]	
	漏気・窓開閉	0.0 回/h	

※2 新計算法:基礎形状によらない値を用いる方法 又は 定常二次元伝熱計算により算出した代表的な仕様の計算例の値を用いる方法など

※3 旧計算法:土間床等の外周部の熱損失及び基礎壁の熱損失を一体として評価する方法

備考・特記事項

暖房設備は壁掛けエアコンを想定。
暖房運転スケジュールはHEAT20住宅シナリオに準ずる。
隣棟の影響を考慮する。